

本 会 記 事

情報処理学会関西支部の設立準備

6月22日に日本電子工業振興協会関西電子計算センター（大阪市北区梅ヶ枝町72 電子会館内）において、城理事が代表者となり設立発起人会が開催され、関西支部設立を万場一致で決議した。ついで、7月29日に同センターで設立準備会が開催され、支部規約案、支部役員候補、事業計画案などの諸事項について審議した。

これらの支部設立の準備は去る5月23日の社団法人創立総会の本年度事業計画に基づいて行なわれたもので、近く本会理事会の承認を得て、正式に発足することになる。なお支部事務局は関西電子計算センター内におかれる予定である。

コード標準化委員会の発足

通産省工業技術院の調査研究委託をうけ、このほどコード標準化委員会が発足した。同委員会は、わが国の電子計算機のコード統一のために、国内の実態と海外実状、標準化の実施状況を調査研究することを目的とする。なお初回は8月2日に開催される。

委員はつぎのとおりである。

委員長 佐々木卓夫（電々公社）、委員 山口一夫（行政管理庁）、来 豊平（国鉄）、峰岸俊雄（第一銀行）、塩川新助（東証）、遠藤 力（東電）、山村公平（富士鉄）、斎藤 有（電子協）、高田昇平（日立）、出川雄二郎（日気）、小林大佑（富士通）、佐々木練太郎（沖）、林 大（国語研）、元岡 達（東大）、清野 武（京大）、喜安善市（東北大）、新堀達也（電々公社）、和田 弘（電試）、南沢宣郎（小野田）、吉岡 忠（通産省）、矢川 豊（工技院）、藤本久勉（情報処理）。

会 告

◎研究委員会

機械翻訳 研究委員会

日時 38年11月18日(月) 14.00~17.00

会場 日本電子工業振興協会

- 議題 1. 語分割の一例 水谷静夫（国語研）
2. 化学論文の表題の露和翻訳
岡本哲也（明大）

EDPS 研究委員会

日時 38年10月25日(金) 14.00~17.00

会場 日本電子工業振興協会

- 議題 1. HITAC 5020 Master Control System
について 三橋荘一郎（日立）
2. CDC-3600 丸山 満（伊藤忠）
3. Read-Backward Polyphase Sorting
大駒 誠一（慶大）

COBOL 研究委員会

日時 38年11月20日(水) 14.00~

場所 日本電子工業振興協会

- 議題 1. COBOL Sample Programme II
渡辺 昭雄（東洋工業）
2. Design of a Separable Transition
—Diagram Compiler
西村 恕彦（電試）
3. COBOL の批判の紹介
吉村鉄太郎（東芝）

プログラム懇談会

日時 38年10月15日(火) 17.45~20.00

場所 日本科学技術研修所

- 議題 1. COBOL Compiler の実験について
和田 英一（小野田）
2. プログラムの整理法について
高橋 理、富田真吾、猪苗代勉（東北大）

雑 報 TIMS-ONR 懸賞論文について

アメリカの ONR (Office of Naval Research) からの資金で TIMS (The Institute of Management Sciences) が世話をする懸賞論文募集がある。こんどのは第3回目、締切は1964年6月30日。題目は Capital Budgeting of Interrelated Projects (関連する企画に対する予算配分)である。賞金は11,000ドル——というよりも、それだけの給料をもらって、

アメリカで1年間研究生活をするような研究契約を結ぶのが賞で、応募資格は学生または卒業後（大学院卒業後）7年以内で、論文は未発表のものに限る。数学的ないし統計学的研究、新しい計算機プログラム、発見の方法またはシミュレーションで、新しい知見を加えるとか、問題処理能力を増進するとかいった成果を伴うものでなければならない。詳細は東大工学部森口繁一教授または本学会事務局に問い合わせれば募集要項の写しを送る。